

2026 年 10 月 27 日
株式会社ミツエーリンクス

CMS の管理環境と公開サイトを分離し、セキュリティリスクの低減を図る「CMS アイソレーション」サービスをリリース

株式会社ミツエーリンクス（本社：東京都新宿区、代表取締役 CEO：東崎 厚広、代表取締役 CTO：藤田 拓、以下「ミツエーリンクス」）は、「CMS アイソレーション」サービスをリリースしました。

近年、ソフトウェアの脆弱性情報の公開が増加するなか、Web サイトにおいても、脆弱性が発見されることを前提としたセキュリティ対策の重要性が高まっています。CMS やプラグインなど個々のソフトウェアへの対策に加え、Web サイトのシステム構成そのものからセキュリティリスクを低減することが求められています。

一部の CMS を使用して構築された Web サイトでは、訪問者が閲覧する Web サイトと、担当者が操作する CMS が同じ公開環境上で動作しています。この構成では、CMS やプラグインなどに脆弱性が見つかった場合、外部から CMS へ到達される可能性があります。

「CMS アイソレーション」は、CMS の管理環境を一般の利用者が閲覧する公開サイトから分離し、CMS で作成・更新したコンテンツを分離された公開サイトへ配信する仕組みを構築するサービスです。CMS へのアクセス経路を限定するとともに、WAF（Web Application Firewall）、監視、バックアップなどを組み合わせます。これにより、CMS のセキュリティ対策を担当者の運用や CMS のアップデートだけに依存するのではなく、CMS の管理環境と公開サイトを含む配信システム全体で、セキュリティリスクの低減を図ります。

サービス特長

公開サイトとインフラを一体で設計

CMS のセキュリティを考える際には、CMS だけでなく、公開サイトやインフラを含めて検討することが大切です。公開サイトとインフラ双方の要件を踏まえ、CMS だけでなくページの更新方法、フォーム、サイト内検索、アクセス解析、外部サービス連携など、公開サイトの機能や運用への影響も考慮した配信システムを設計します。

公開サイトの監視・保守まで一貫して支援

CMS の管理環境と公開サイトの分離だけでなく、公開後の監視・保守、障害発生時の対応までを見据えて配信システムを設計します。CMS の保守範囲や対応時間、障害発生時の役割分担を要件定義の段階で整理します。

将来の引継ぎや移管まで考慮したドキュメント整備

関連するクラウドサービス、DNS、SSL/TLS 証明書、WAF、CDN (Content Delivery Network) などの構成・設定情報を整理し、必要なドキュメントを整備します。特定の担当者やベンダーだけが構成を把握している状態を避け、将来の担当者変更やシステム移管、ベンダー変更にも備えやすい運用基盤を提供します。

サービスの詳細は、以下の URL よりご覧いただけます。

<https://www.mitsue.co.jp/service/cms/isolation.html>

株式会社ミツエーリンクスについて

ミツエーリンクスは、顧客企業さまのビジネスを持続的発展に導く、コミュニケーション・デザイン・カンパニーです。

1990 年という IT 分野の幕開けともいえる時期から、デジタルコンテンツを中心に数々のユニークなサービスを提供。企業のマーケティング活動をデジタルメディアで実現し、また継続的に改善し続けるべく、コンテンツ（映像・音声を含む）および UI の企画・設計・実装、Web サイトの構築・運用を中心に、システム開発、アプリケーション開発、アクセシビリティ/ユーザビリティの向上、アクセス解析に至るまで、様々なサービスを包括的に提供しています。高い技術品質、プロセス品質、サービス品質と共に一連のサービスを有機的に統合し、企業・社会活動に貢献します。

また、ミツエーリンクスは、次の国内外規格を取得しています。

- 品質管理の国際規格 ISO9001（認証事業所：本社）
- 情報セキュリティ管理の国際規格 ISO27001/ISMS（認証事業所：本社）
- プライバシーマーク制度

当社についての詳細は、以下の Web サイトよりご覧いただけます。

ミツエーリンクス Web サイト: <https://www.mitsue.co.jp/>

〔商標〕記載されている会社名、製品名等の固有名詞は、各社の登録商標または商標です。

この件に関するお問い合わせ先

株式会社ミツエーリンクス
ブランドコミュニケーション部
三宅 祐子（ミヤケ ユウコ）
TEL：03-5937-2891
FAX：03-5937-9039
e-mail：release@mitsue.co.jp